

横浜こぶしの会 山行報告書 2017年7月21日提出 (提出者:T)

山名・山城	岩手山・八幡平
山行目的	高山植物の宝庫の山をゆっくりと。
山行期間	7月13日～15日
参加者	3名

天気、ルート、コースタイム

7月13日 晴れ

10:30分レンタカー(40分)～馬返し登山口発11:30～(旧道)～八合目避難小屋16時10着  
歩 4時間10分

7月14日 晴れ

小屋発5:30～岩手山頂上(お鉢巡り)～8:00着小屋8:30発～(新道)～馬返し登山口着12:00  
歩 6時間30分

7月15日 晴れ

無料駐車場発8:30～登山口・鏡沼・メガネ沼・八幡平頂上・展望台・ガマ沼・陵雲荘(避難小屋)・八幡沼～源太森ピストン～12:00登山口着  
歩 2時間30分

・7月13日・・・岩手山(2038m)は奥羽山脈の最高峰、コマクサ群生日本一です。

新幹線、レンタカーを乗り継ぎ、馬返し登山口(標高630m)へ。標高差1400mの柳沢コース、健脚3人にゆっくり山行をお願いする。

ブナ・ミズナラの樹林を進むと0.5合目の新・旧道の分岐。ブナ巨木に癒される。旧道を進み、10分ほどで合流。火山礫斜面を抜け樹林帯へ。2.5合目で再び分岐、景色の良い旧道の岩稜に行くこととする。暑さと急登を覚悟していたが、半端ではない。水分補給の休憩を多くし、オダマキやタカネウスユキソウに励まされ、ようやく6合目巨大岩の御蔵岩へ。足早に通り返し、もうひと頑張り。7合目は新・旧道合流地。八合目避難小屋まではゆるやかな花のアプローチ。色々な花々に巡り合え嬉しい限り☘

小屋の広場には御成清水が滾々と溢れている。大部屋に5人グループ、単独登山者が二人と我々4人のみ。小屋番の方、何かと親切でテーブルまで貸してくれる。友人の思わぬ豚汁の御馳走に恐縮しながらも、完食！早めの就寝。

7月14日 晴れ

ザックをデポして岩手山(薬師岳)山頂を目指す。ほどなく不動平避難小屋、お鉢迄の二手に分かれた道を右に取る。満開のコマクサ群に感嘆！皆、一斉にシャッターを切る。時計回りに、何体もの観音様に導かれ山頂に到達。早池峰山、鳥海山、月山、秋田駒ヶ岳、森吉山、八幡平、八甲田山と360度の展望、好天に感謝。下山時のブヨと樹林帯の蒸し暑さ、急の下りには閉口する。

八幡平・藤七温泉の女風呂でサッパリとし、とにかくビールで乾杯！山の幸バイキング料理を堪能。

混浴露天風呂(ミルクブルーのお湯)は7時30分から8時30分まで女性専用となるので思う存分満喫できる。宿は傾いていて、自立しているのが不思議。

本日の山行も無事終わり、早めにおやすみなさい zzz

7月15日 晴れ

泊り客専用女性露天風呂にてご来光を仰ぐ。

八幡平の沼は透明で青く、湖と云うほうが相応しいように思える。石畳の道は源太分岐まで続く。キヌガサソウやサンカヨウに目を見張る。分岐から源太森迄の木道・湿原にはワタスゲが圧巻。湿生高山植物の宝庫でした。

※岩手山の八合目避難小屋 一泊 1700 円 毛布 1 枚 500 円・3 枚 1000 円・5 枚 1500 円  
藤七温泉 1 泊 2 食付 12030 円 (2 人部屋)

今回の山で出会った花をざっと列記します。興味ある方は植物図鑑と見比べてください。

- 「岩手山」・キバナホトトギス・トリアシショウマ・マルバダケブキ・マルバシモツケ・ミヤマカラマツソウ  
・タカネウスユキソウ・ハクサンチドリ・ヨツバシオガマ・ミヤマダイコンソウ・ヤマオダマキ s  
・オオバキスミレ・タカネキスミレ・イワテハタザオ・エゾツツジ・マイズルソウ・タニウツギ  
・ベニバナイチヤクソウ・キンコウカ・コマクサ群生・他
- 「八幡平」・アキノキリンソウ・イワカガミ・ハクサンシャクナゲ・キンポウゲ・キヌガサソウ・サンカヨウ  
・エンレイソウ・シロハナエンレイソウ・コバイケイソウ・ショウジョウバカマ・オオバタケシマ  
ラン・ネバリノギラン・ツマトリソウ・イワイチョウ・イワイチョウ・ミツガシワ・ワタスゲ  
・ミズバショウ・ニッコウキスゲ・ムシトリスミレ・ヒナザクラ・ミネザクラ・ウラジロヨウラク  
・モウセンゴケ・他



岩手山頂上



八幡平